

6

一人ひとりが

環境について考え

行動するまちづくり

I 環境の現況

本市では、環境教育・環境学習の機会を提供するため、しゅうなん出前トークや社会教育施設である大田原自然の家、動物園、公民館活動等の中で、様々な講座や体験イベントなどを開催しています。

学校においても、教科書等における環境教育だけでなく、地域との連携の中で地域の特色に応じた環境学習が行われています。

また、環境教育・環境学習の基盤整備として、その指導者確保の観点から山口県に登録されている環境アドバイザー等の人材情報を市ホームページで発信しています。

環境配慮行動の推進として、住宅用太陽光発電設備や生ごみ処理器・コンポスト容器等への助成による普及促進、市民節電所及び環境美化活動である地域一斉清掃やクリーンネットワーク登録団体等への物品支給等により支援しています。

周南市役所では環境に配慮したまちづくりを推進するために、平成18年度に環境マネジメントシステム(EMS)を構築し、平成19年度にISO14001の認証を取得しました。

さらに次のステップとして平成23年12月にISO14001の認証を返上し、平成24年度からこれまでのシステムを基本とした効率的な周南市独自のEMSに切り替えています。

1. 環境アドバイザー等の登録数

山口県は地域で行われる環境に関する学習会、講演会等を利用した環境に対する体験学習、工作教室等に対し、「環境アドバイザー(講演型環境学習指導者)」または「環境パートナー(体験型環境学習指導者)」の派遣制度を設けています。

また、環境省のエコクラブ事業に基づき、こどもエコクラブに対し、運営面及び実践活動について指導及び助言を行う「こどもエコクラブアドバイザー」を派遣しています。

■周南市在住の環境ボランティア(平成24年度)

周南市在住の「環境アドバイザー」	3人
周南市在住の「環境パートナー」	7人
周南市在住の「こどもエコクラブアドバイザー」	3人
地球温暖化防止活動推進員	5人

2. 環境関連の団体数及び人数

(1) こどもエコクラブの団体数及び人数

こどもエコクラブは、環境省へ申請登録すると、こども達が楽しみながら、環境保全活動や学習が行える資料配布等の支援を受けることができる制度です。

平成24年度における登録数は1団体、23人です。

■こどもエコクラブの登録数及び人数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
登録数	2	3	3	1	1
人数	84	207	135	33	23

(2) クリーンネットワークの団体数及び人数

ゴミの散乱がないきれいなまちづくりは、快適な生活環境を守るうえで、非常に重要です。「周南」のイメージを形成する点においても、まちの清潔度は、大きな比重を占めるものです。クリーンネットワーク推進事業は、その実現に向けて、公共施設をボランティアで管理する「里親制度」を導入し、市民の皆さんと市が一体となった環境美化活動を強力に推進するもので、ボランティア団体・グループの活性化を目的とするものです。

道路や公園を「子ども」に見立て、市民の皆さんに親代わりになっていただき、我が子へ注ぐ愛情と同様に、公共施設のお世話をさせていただくものです。市はゴミ袋の支給、収集ごみの回収、清掃美化活動中のケガなどに適用される保険（見舞金）の手続き、清掃用具の支給、ボランティア団体及びグループ名を記した表示板の設置、広報活動を担当し、市民と行政が連携して、清掃美化活動を推進します。

平成24年度におけるクリーンネットワークの登録数は、69団体、2,002人です。

■クリーンネットワークの登録数及び人数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
登録数	51	62	64	67	69
人数	1,825	1,943	1,961	2,052	2,002

3. 環境関連イベントの開催

市では、ホテル観賞、農業体験、星空観察、清掃活動、地産地消推進事業、リサイクルなどの各種環境関連のイベントを実施しています。

■環境関連イベント

開催日	名称/内容	関係課
通年	TOKUYAMA ZOO CLASS	動物園
通年	大田原自然の家のイベント	大田原自然の家
通年	豊鹿里パークのイベント	鹿野総合支所 産業土木課
4月～7月 全7回	星空観望会/月・金星・火星・木星・土星・天王星・天の川・季節の星座などの観察	鹿野公民館
4月1日、14日、21日 5月13日、 6月24日 10月13日、 20日 11月4日	市内ウォーキング/瀬戸内海国立公園太華山春爛漫ハイキング/「児玉源太郎」と徳山毛利藩のゆかりの地を訪ねて～桜のトンネルを歩こう!～/瀬戸内海国立公園馬島散策と人間魚雷「回天」の基地を訪ねて/大津島縦断ウォークと人間魚雷「回天」の基地を訪ねて(4/21、10/20)/鹿野・石楠花めぐり/鹿野・紫陽花めぐり/戦艦大和最後の停泊地と人間魚雷「回天」の基地を訪ねて/五万堂溪谷赤滝と長野山の紅葉	観光交流課
4月7日	高瀬湖クリーンウォーク	新南陽総合支所 地域政策課
4月7～8日	花とワインフェスティバル	観光交流課
5月3～5日	永源山公園つつじ祭り	公園花とみどり課

《6 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

開催日	名称/内容	関係課
5月20日	周南路まるごとウォーク/動物園・市街地“再”発見コース/大津島と山の“彩”発見コース/周南・下松“最”過酷コース	観光交流課
6月	水道週間「水の教室」/飲み水ができるまでの工程及び使用後の下水処理の工程を通じて、水循環の輪の中に私たちの生活が深く関わっていることを学習	上下水道局
6月2日	トワイライトフェスティバル/ホテルの観賞、ホテルかご作りなど	和田公民館
6月3日	西緑地公園樹木観察会/西緑地公園の樹木見本林や万葉の森での観察会	公園花とみどり課
6月8日～9日	ホテル観賞のタベ/ライブショー、ハワイアンバンドの演奏、バザーなど	大道理公民館
6月9日	親子水道バスツアー/水源林の散策やダム及び浄水場の見学	上下水道局
6月9日	ほたるのタベコンサート/ホテルの観賞、各種団体の生演奏など	鹿野総合支所 産業土木課
6月9日	長穂ほたる祭り/ホテルのくす球割り、バザーなど	長穂公民館
6月16日	大潮ほたる祭り/ホテル観賞、バザーなど	鹿野総合支所 産業土木課
7月8日	清流錦川一斉清掃大作戦/河川や河川沿いの道路のごみ拾い、分別など	河川港湾課 鹿野総合支所産業 土木課 須金公民館
7月8日	水と緑の一斉大奉仕作業/須々万ふれあいの森と須々万川周辺の草刈りとごみ拾い	須々万地区 (須々万地区まち づくり推進協議 会・須々万地区自 治会連合会)
7月28日	モーっとちーずをたべちゃおう!	農林課
7月29日	夏の交流事業/下松こどもエコクラブ参加(水生生物の観察、大潮クイズ等)	鹿野・大潮地区 (大潮の里をまも る会等)
7月31日	森と湖に親しむ集い/水辺の教室や魚の放流など	新南陽総合支所地 域政策課
8月～3月 (全4回)	未来を育む魂仲村塾/子どもたちものづくりを体験する機会を創出するとともに、保護者にも自然への理解を深め、異年代とのふれあいの場作りにより子育てを学ぶ ※各回の詳細は政策企画課のHP平成24年度「ひと・輝きプロジェクト公募事業」	政策企画課
8月9日	夏休み親子水辺の教室/水中生物の観察・調査、やまめのつかみ取り、バーベキュー、美化活動	熊毛公民館 熊毛総合主張所 熊毛総合支所市民 福祉課
10月6日	ツルのねぐら整備ボランティア/ナベヅルのねぐらと餌場の整備	鶴いこいの里交流 センター
10月8日	永源山公園ゆめ風車まつり	公園花とみどり課
10月21日	鹿野らしさを発見 チキチキウォーキング	都市計画課
10月28日	周南こどもゆめまつり in くまげ	熊毛総合支所地域 政策課

《6 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

開催日	名称／内容	関係課
10月31日	永源山公園「ゆめ風車」チューリップ満開作戦／チューリップの球根を植えてもらうイベント	公園花とみどり課
10月27日 11月3日	まちと森と水の交流会/水源の森づくり活動（広葉樹林の整備）森のふれあい体験（市有林ふれあいの森）	農林課
11月10日～ 11日	ルーラル315・376 フェスタ/沿線の朝市や催し物を結ぶ地域イベントで市内の会場で農山村漁村の女性たちが中心となって朝市やイベント、体験コーナーを開催	農林課
11月15日	ごみ処理施設見学バスツアー／家庭ごみのゆくえを見学する日帰りバスツアー	リサイクル推進課
11月25日	くまげツルの里ウォーク大会	教育委員会・熊毛出張所
12月2日	大津島ポテト健康マラソン	文化スポーツ課
12月25日	第2回周南市エコフェスタ／①小鳥のためのお家づくり ②牛乳パックを使った紙すき③便利ぶくろをつくろう、自転車の展示即売（リユース品）、エコ商品の展示販売、ペガサス紹介ビデオ上映など	リサイクル推進課

出典：広報「しゅうなん」他、環境政策課調べ



4. 周南市環境マネジメントシステム

【経緯】

周南市では、環境に配慮したまちづくりを推進するために、平成18年度から環境マネジメントシステム（EMS）に取組み、平成24年度からは周南市独自のEMSを運用開始しました。

平成18年7月	キックオフ宣言 周南市EMSの構築
平成19年4月	周南市EMSの運用開始
5月	環境方針の改正
8月	環境内部監査 事前審査
10月	マネジメントレビュー 登録審査
12月	ISO14001 認証取得
平成22年12月	ISO14001 認証更新
平成23年12月	ISO14001 認証返上
平成24年4月	周南市独自のEMS運用開始

【周南市独自のEMS見直しの目的】

◆これまでのシステムを基本としながらも、ISO14001の規定にとらわれず、市の事務事業における環境への負荷を低減するための行動をより効果的なものとするためのシステムとします。

◆システム規程や運営マニュアルなどの簡略化とともに、業務量の減量を図ります。

【周南市環境方針】

環境方針とは、環境問題にどのように取り組んでいくかについて、市長の理念・方針を定めたものです。EMSの環境目標設定や実際の活動は、環境方針に基づいて行います。

環境方針は、職員はもとより、市民や事業者のみなさんにも広く知っていただくため、次に、「周南市環境方針」の全文を掲載します。

周南市環境方針

1 基本理念

周南市は、北に中国山地から連なる緑の田園地帯、南に瀬戸内の青い海を有する自然豊かなまちです。市内の八代地区では、本州唯一のナベヅルの渡来地として、古くから鶴の保護活動が続けられており、自然保護の先駆的な歴史も持っています。

また、臨海部には、全国有数の石油化学コンビナートを中心とした工業地帯が広がり、本市の産業経済を支えるとともに、技術開発等により、環境保全・環境への負荷の低減に努めてきました。

こうした地理的・歴史的背景から、「周南市環境基本計画」では、本市の目指す環境像を「豊かな自然をはぐくみ 未来へはばたくまち 周南 ～自然の恩恵を将来の世代とわかちあうために～」とし、市民、事業者と連携・協力しながら、豊かな自然と産業の振興が両立した「ふるさと周南」を、次の世代に受け継いでまいります。

2 基本方針

(1) 地球温暖化防止対策への取組

「周南市役所エコ・オフィス実践プラン」などに基づいて、省エネルギー、ごみの減量化・再資源化などを推進し、市の業務により発生する温室効果ガスの削減に努めます。

(2) 法令等の遵守

環境法令や環境に関する協定等を遵守し、環境汚染の予防に努めます。

(3) 危機管理の徹底

事故等による重大な環境汚染を防止するため、事故対応マニュアルを作成し危機管理を徹底します。

(4) 業務の継続的な見直し

環境負荷の低減を図るため、環境マネジメントシステムを用いて、業務の継続的な見直しを行います。

(5) 職員の意識向上

市職員を対象とした研修等を実施し、環境に関する意識の向上と実行力を高めます。

平成23年6月20日

周南市長 木村 健一郎

Ⅱ 基本施策の実施状況

1 環境教育・環境学習の推進

目標：環境教育・環境学習の基盤整備を進め、あらゆる場における学習機会の拡充を推進します。

(1) 環境教育・環境学習の拡充

① しゅうなん出前トーク

市民の市政に対する理解を深めていただくため、市職員が直接、市民の皆様の所へお伺いし、市の施策や事業について説明するとともに、意見交換を行うものです。

平成24年度は環境関連のテーマで28件1,501人が受講されました。

■ しゅうなん出前トーク([分野]環境・水道中の環境関連テーマ)実施状況

	講座名	件数	人数(人)
1	ごみの分け方・出し方	19	1,146
2	家庭でできるごみを減らす方法	1	26
3	周南エコすごろくゲーム	4	80
4	快適な水環境を守る「下水道」②	4	249
5	蛇口の向こうの話	0	0
	計	28	1,501

② 周南市エコすごろく (改訂版)

周南市エコすごろく (改訂版) を平成19年度に作成しました。

小学生を中心に大人でも楽しみながら、地球温暖化防止の取組方法をわかりやすく学ぶことができるすごろくになりました。

このすごろくを活用し、「しゅうなん出前トーク」を実施しています。

◆ 「周南市エコすごろく」のHPアドレス

http://www.city.shunan.lg.jp/data/open/cnt/3/8396/1/ecosugoroku2_1.pdf



【周南市エコすごろくゲーム】

③ 周南市版フィフティ・フィフティ

市内の小・中学校で環境教育の一環として学校が省エネルギーに取り組み、平成23年度の電気使用量よりも5%の削減に取り組みました。

■周南市版フィフティ・フィフティ実績

	平成 23 年度電気使用量		削減目標 (23 年度実績 の 5%)	平成 24 年度電気使用量		実績	
	学校数	46 校分の使用量		学校数	46 校分の使用量	達成校	削減量
小学校	30	1,866,127Kw	93,306Kw	30	1,847,871Kw	7	18,256Kw
中学校	16	1,256,329Kw	62,816Kw	16	1,247,118Kw	4	9,211Kw
計	46	3,122,456Kw	156,123Kw	46	3,094,989Kw	11	27,467Kw

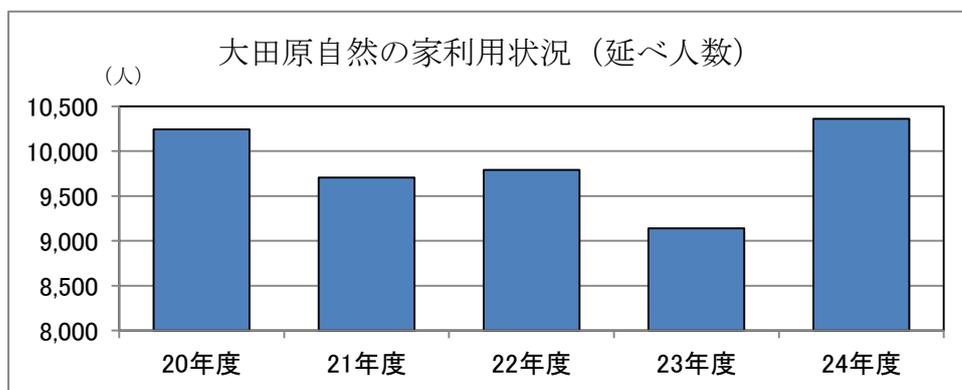
④大田原自然の家

大田原自然の家は、青少年が自然に親しみながら、集団宿泊生活等を通じて、情操や社会性を豊かにし、心身を鍛練する中で、青少年の健全育成を図る社会教育施設です。素朴な田舎体験や自然とのふれあいを求める皆さんには最適です。

子供から家族、一般、指導者を対象に様々な事業を実施し、平成 24 年度は 296 団体、延べ 10,360 人の参加がありました。

■大田原自然の家の利用状況

年度	団体数	実人数	延べ人数
平成 20 年度	278 団体	6,483 人	10,243 人
平成 21 年度	286 団体	6,252 人	9,704 人
平成 22 年度	255 団体	6,088 人	9,791 人
平成 23 年度	262 団体	6,155 人	9,141 人
平成 24 年度	296 団体	6,870 人	10,360 人



⑤ツルの里案内人

特定非営利活動法人ナベヅル環境保護協会は、地域住民を中心にツルの里案内人（ボランティアガイド）を設け、ツルの見学者に対し、野鶴監視所や敷地内でツルの生態解説などを行っています。平成 24 年度は 11 月から 3 月の間、延べ 48 日間活動されました。

⑥樹木観察会

西緑地の樹木見本林や万葉の森を活用し、多くの市民が自然とふれあい、環境について学習することを目的に、樹木観察会を開催しました。6 月に開催し、22 人の

《6 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

市民の参加がありました。

⑦親子水道バスツアー

平成24年6月9日、「親子水道バスツアー」を開催し、16人の参加がありました。水源林を散策し、自然とのふれあいを通して水源林の役割や保全の大切さを学び、ダム及び浄水場を見学し、ダムの役割や浄水工程を学びました。



【水源林の散策】

⑧水の教室

6月の水道週間を中心に、小学4年生の児童と保護者を対象とした環境学習事業で、飲み水ができるまでの工程と使用後の下水処理の工程を通じて、地球規模で行われている水循環の輪の中に私たちの生活が深く関わっていることを学習し、水を大切に使うこと、水を汚さないことが健全な水環境の継続につながることを啓発しました。

平成24年度は6校、405人の参加がありました。



【水の教室】

⑨ペガサス・エコフェスタ in 環境館

平成24年12月25日、リサイクルプラザ「ペガサス」の中の環境館において、「小鳥のためのお家づくり」や「牛乳パックを使った紙すき」、「便利ぶくろをつくろう」の各教室や、自転車の展示即売（リユース品）、エコ商品展示販売、ペガサス紹介ビデオ上映などを実施し、150の方が来館されました。

⑩ごみ処理施設見学バスツアー

平成24年11月15日、「家庭ごみのゆくえを見学するバスツアー」を開催し、ごみ処理施設の見学を行いました。恋路クリーンセンター→山口エコテック→リサイクルプラザ「ペガサス」→ごみ燃料化施設「フェニックス」→市不燃物処分場の見学に29の方が参加されました。



【ごみ処理施設見学バスツアー】

《6 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

⑩公民館等での活動

◆「ごみの分け方・出し方」講座

(須々万公民館・須々万婦人会)

と き	平成 24 年 6 月 28 日 (木)
と ころ	須々万公民館
参加者	41 名
内 容	ごみの分別方法について。

◆プルタブ回収事業 (須々万公民館、須々万地区まちづくり推進協議会)

と き	平成 25 年 3 月 22 日 (金)
と ころ	友愛園
参加者	須々万地区住民
内 容	プルタブを集めて車いすを贈ろう「車いす寄贈式」を実施。

2 環境配慮行動の推進

目標：各主体の自主的かつ積極的な環境配慮行動の実践をめざします。

(1) 環境に配慮した行動の支援

① みどりのカーテン事業

みどりのカーテン設置講習会の開催や市民、事業者等が設置したみどりのカーテンの写真等を市ホームページで紹介しています。

詳しくは P50 をご覧ください。

② エコチャレンジ～市民節電所事業

7月～10月分の電力使用量を前年度と比較して、削減できていれば応募でき、毎月選定により、環境に配慮した賞品を進呈する事業です。

詳しくは P50～51 をご覧ください。

③ 生ごみ処理器・コンポスト容器への助成

生ごみ処理器・コンポスト容器の購入者に対し、購入費の助成を行うものです。

詳しくは P58 をご覧ください。

(2) 環境保全団体の支援

① 資源物団体回収報奨金

資源物の回収をした団体に対し、報奨金を交付する制度です。

詳しくは P59 をご覧ください。

② クリーンネットワーク

道路や公園などを年6回以上清掃される団体へ支援する制度です。

詳しくは P65 をご覧ください。

③ 公園愛護会

公園が市民の憩いの場、また楽しい遊び場となるよう、清掃や児童の見守りを行う団体を支援する制度です。

(3) 環境に配慮した事業活動の推進

① 環境に配慮した事業（イベント）の開催

普及啓発の場として有効なイベントでのごみの減量化や環境美化など、環境への配慮のための指針を示し、より環境負荷低減活動を推進するため、平成17年8月に「イベントを環境配慮するためのガイドライン」を作成しました。

平成24年度は次の事業が「環境に配慮したイベント」として実施されました。

《6 一人ひとりが環境について考え行動するまちづくり》

◆周南こどもゆめまつり in くまげ

開催日 平成 24 年 10 月 28 日 (日) 開催場所 ゆめプラザ熊毛

参加者 約 5,000 人

内 容 ◇空き缶で作るスカイツリーのモニュメント
 ◇空き缶プレスカーの実施 ◇エコ風船 ◇エコ遊びコーナー
 ◇ミニ動物園 ◇キッズフリーマーケット ◇エコすごろく
 ◇ネイチャーゲーム ◇下水道クイズ ◇古本市

参加者に次の環境配慮を呼びかけました

- ・空き缶持参の呼びかけ⇒空き缶モニュメントの作成 (空き缶はプレスして、リサイクルしました)
- ・公共交通機関での来場の呼びかけ
- ・会場内ゴミの適切な処分の呼びかけ⇒ゴミの返却場所指定



【スカイツリーのモニュメント】



【エコ風船】

②周南市EMSの取り組み

◆環境目的・目標及び実施計画に関する取組状況

周南市EMSでは、環境目標及び環境実施計画を設定し、評価しています。

◆環境内部監査

平成 24 年度の内部監査は、EMSの規格要求事項等の適合確認を監査方針とし、環境負荷の大きい施設と無作為に抽出した計 29 サイトを対象に実施しました。

結果は、是正事項 0 件、改善事項 35 件、優れた取組み 71 件でした。

◆周南市EMS優秀活動賞

内部監査で、優れた取組み等、他の模範となる取組みを検出し、「周南市EMS優秀活動賞」として表彰しています。平成 24 年度は次の 5 件を表彰しました。

■周南市EMS優秀活動賞 表彰状況

対象組織	表彰内容
新南陽総合支所・地域政策課	総合支所の電力使用量 12.2%カット (23 年度実績)
第一保育園	園での活動における環境負荷の軽減運動
八代幼稚園	園での活動における環境負荷の軽減運動
城ヶ丘保育園	園での活動における環境負荷の軽減運動
湯野幼稚園	園での活動における環境負荷の軽減運動

本市EMSは、環境政策課ホームページで公表しています。

※「周南市EMS」のHPアドレス

http://www.city.shunan.lg.jp/section/kankyo/environment/environmental_Management_Sys/EMStop.html

3 環境美化活動の推進

目標：地域の環境美化活動を推進し、潤いと安らぎのある地域環境の創出を目指します。

(1) 環境美化意識の浸透

① 路上喫煙、動物へのえさやりの禁止

本市では、「周南市空き缶等のポイ捨て禁止条例」を改正し、「周南市空き缶等のポイ捨てその他の迷惑行為禁止条例」として平成23年7月に施行しました。

空き缶等のポイ捨て禁止、飼い犬のふん害防止等に加え指定区域内での路上喫煙、自ら所有・占有しない動物へのえさやり、落書き等を禁止しています。

さらに、罰則の厳格化を図り、空き缶等のポイ捨て、指定区域内での路上喫煙の禁止行為の違反者には過料処分やその他の違反行為についても氏名公表等を行います。



【指定区域内の喫煙場所】

(2) 環境美化活動の支援

① クリーンネットワークの活動の支援

クリーンネットワークの活動支援として、
㊦ ゴミ袋、清掃に必要な用具類の支給
㊧ ボランティア活動保険の加入
㊨ 里親名を記した表示板の設置
㊩ ゴミの回収
詳しくは、P65をご覧ください